

大阪の再生・成長に向けた新戦略 ～ウィズコロナからポストコロナへ～ 【概要版】

1. 戦略の策定趣旨

- 1 コロナ禍による様々な影響を踏まえ、**経済や府民生活へのダメージを最小限に抑えるために緊急的に取り組むべきもの**、さらには、**コロナ終息を見据え、大阪の再生・成長に向けて取り組むべき方向性を明らかにする、新たな戦略を大阪府・大阪市において策定。**
- 2 この戦略により、大阪の再生を確たるものとし、さらなる成長につなげるとともに、その取組みの成果を、2025年の大阪・関西万博の成功、SDGsの達成へとつなげていく。
- 3 そして、日本の成長をけん引する東西二極の一極として、府市一体のもと、世界に存在感を発揮する「副首都・大阪」を確立・発展させていく。

2. 新型コロナの感染拡大の影響と新たな潮流（主なもの）

経済や社会・暮らし、東京一極集中リスクの観点から、コロナがもたらした影響や新たな潮流を分析

	主な影響	新たな潮流
①経済 (産業・雇用)	<ul style="list-style-type: none"> ◇実質成長率の大幅な低下予測 ◇インバウンド需要の消失、宿泊、飲食業等を中心とした国内消費の減少 ◇雇用環境の悪化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ECの拡大など消費行動の変化 ◆テレワークなど働き方の変化 ◆ポストコロナを見据えた成長産業 ◆国際金融体制・市場の変化 など
②社会・暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ◇所得の低下 ◇社会的つながりの喪失や児童虐待、自殺者の増加等の懸念 ◇長期間の休校 など 	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会全体のデジタル化の加速 ◆新しい生活スタイルや意識の変化 ◆健康意識の高まり ◆国際的なグリーンリカバリーの議論 など
③東京一極集中リスク	<ul style="list-style-type: none"> ◇東京一極集中のリスクが顕在化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京一極集中リスクの是正議論の活発化 ◆東京から人口流出

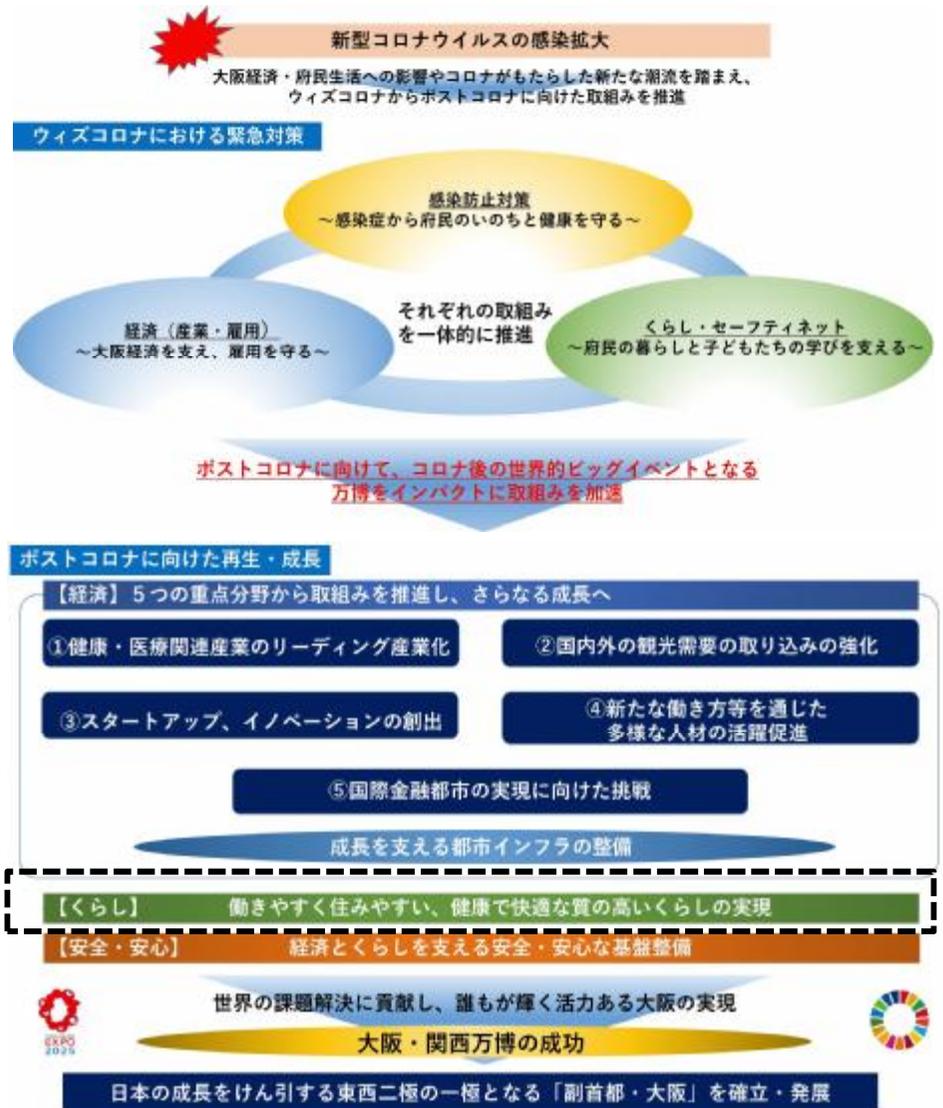
4. 戦略の目標

大阪の再生・成長に向けて、目標となる指標を設定。目標年2025年（一部を除く）

- 実質成長率** → ・2022年度に府内総生産（実質）をコロナ前の水準に戻す。
・それを踏まえ年平均2%以上
- 内外からの誘客** → ・「大阪都市魅力創造戦略2025（仮称）」の策定をもって、設定
- スタートアップ創出数** → ・300社創出（うち大学発100社）（2024年）
- 雇用創出数** → ・2022年にコロナ前の水準に戻す。2022年以降、年平均2万人以上
- 府内への転入超過数** → ・生産年齢人口の転入超過数 年1万人以上

3. 取組みの方向性

- ウィズコロナでは、感染防止対策を講じつつ、経済の落ち込み、府民生活への影響を最小限に抑える。
- 大阪の再生・成長を図るため、ポストコロナに向けて5つの重点分野を中心とした経済成長面からの取組みに加え、暮らし、安全・安心の取組みを推進。



◆各柱建ての取組みの方向性等【くらし（取組みの方向性）】

「大阪の再生・成長に向けた新戦略」
(令和2年12月策定)より一部抜粋

項目	ウィズコロナ (緊急対策期)	ウィズコロナ (反転攻勢準備期)	ポストコロナ (反転攻勢期)
(2) 健康寿命の延伸等	▶▶▶		
① 府民の健康の確保		ニューノーマルに対応した健康づくりや「10歳若返り」の推進	健康寿命の延伸に向けた健康づくりや「10歳若返り」の推進
取組みの方向性	○コロナ禍において、府民の健康悪化が懸念される中、府民一人ひとりの健康状況の改善に向けて、多様な主体の連携・協働や健康づくりの普及啓発・気運醸成など、健康寿命の延伸に向けた取組みを推進する。	○大阪・関西万博開催に向け、国において整備が進められているPHR（パーソナル・ヘルス・レコード）の活用を視野に入れ、新しい生活様式にも対応した健康づくりの普及啓発・気運醸成など、ウィズコロナ時代の健康寿命の延伸に向けた取組みを推進。 ○コロナ後の社会変容を見据え、DX（デジタルトランスフォーメーション）の加速なども踏まえつつ、「10歳若返り」に向けた戦略的な取組みを展開し、大阪・関西万博につなげていく。	○大阪・関西万博開催に向け、PHRを活用し、ニューノーマルに対応した健康づくりを推進することで、健康寿命の延伸に向けた取組みを加速する。

上記を踏まえた今後の10歳若返りに向けた取組みの方向性

【取組みにあたっての分野・視点】

(1) 運動と笑い、音楽
(2) 口の健康、食
(3) 認知症予防
(4) アンチエイジング
(5) 企業の取組み促進
(6) **生きがい、やりがい**
(7) **いのち輝く未来のまちづくり**

① 連携の視点
・ 企業、地域や分野間の連携
・ 楽しみやつながりなどの視点を加味
・ 「新しい生活様式」を踏まえた取組み

② 先進技術の視点
・ 先進技術や新たな手法を活用
・ **DX（デジタル・トランスフォーメーション）の加速**

◆「分野」について、「多様な活動」における取組みを広げるために「生きがい、やりがい」を追加するとともに、より幅広い世代での取組みを進めるために従来の「高齢社会のまちづくり」から「いのち輝く未来のまちづくり」に変更する

◆「視点」について、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、取組みの推進にあたっては、「新しい生活様式」を取り入れ、web形式などのオンラインを最大限活用するとともに、コロナ後の社会変容を見据えるとともに、大阪・関西万博をめざし、より「先端技術の活用」を意識した取組みを進めていく

上記方向性を踏まえつつ、万博をめざし取組みを推進していく

◆「10歳若返り」の意識が府民一人一人に浸透 ◆府内各地に「10歳若返り」のロールモデルとなる地域や企業が多数存在